

かわしまま部社協だより



平成26年8月1日 編集・発行

各務原市社会福祉協議会川島支部

合併10周年記念 福祉講演会



日 時 平成26年10月25日(土)
午後1時30分～3時30分
場 所 内藤記念くすり博物館ホール
講 師 辻イト子先生
(タレント・漫才師)
演 題 「いくつになっても輝こう」
入場料 無料
駐車場 有

財源は市社協交付金、メニュー事業助成金、繰越金等を充てて実施してまいります。

事業では、本会が、各務原市社協と合併して十年になるのを記念して特別事業(福祉講演会)を行うのをはじめ、「親子ふれあい映画会」「配食サービス」「古希・介護者・一人暮らし高

市社協川島支部では、五月二二日、川島ライフセンターで総会を行い、今年度の事業計画、予算を決めました。

26年度事業計画決まる

高齢者の集い」等の事業を行います。

また、予算は総額一五四三十七万円で、記念事業を含む「その他の事業」に四十万円を計上。メニュー事業は九十五万円で、内訳は「歳末たすけあ

い特別事業(古希・介護者・一人暮らし高齢者の集い)」に二十万円、

一人暮らし高齢者に対しても行う「配食サービス事業」に八万円、親子ふれあい映画会や節句の会(協賛)などの「地域子育て支援・交流事業」に十五万円、予備費七十三万円などとなっています。



10周年記念事業を実施

平成26年度の主な事業

食サービス

(実施予定 11月)



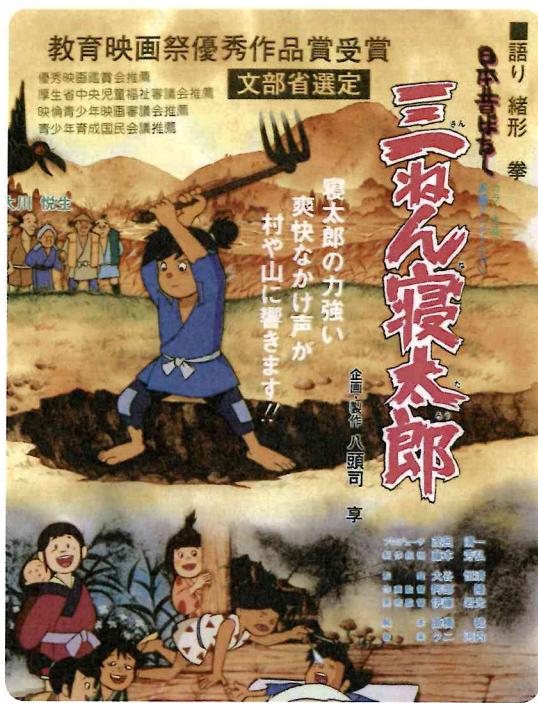
●盛り付け風景

70歳以上の人暮りし高齢者の方に、お弁当(配食サービス)を提供します。田頃、料理を学んでおられる「あゆみの会」のみなさんの協力を得て、役員が各家庭へ赴き、毎食をお届けします。合わせて体の調子はどういか、困つてないかなどお話をしながら安否確認をしていきます。

(実施予定 1月)

年賀状でおめでとう

一人暮りし高齢者の方に社協川島支部から年賀状をお届けします。新しい年がよい一年であるよう一緒にお祈りします。



映画会

人気のアニメ映画などを見ます。友達と感想を述べ合ったり、家庭の中でも映画のお話をしたりしながら親子の絆を深めていただき、夏休みの楽しさページをつくりませんか。

やどりき会に加入してくる方はもちろんで、参加者を募ります。加入しない方は直接会場へお越しください。

日 時 8月8日(金)
午前9時45分～11時30分
場 所 川島ワifixザインセンター
入場料 無料



● 昨年の安来踊り(上)と
集いの状況(右)



古希・介護者・ 一人暮らし高齢者の集い

今年古希を迎える方にはお祝いとし、現在家庭介護をされている方には少しの息抜きの場とします。また一人暮らし高齢者の方にはふれあいを目的とし、それぞれ集まっていただきて、芸能観賞や食事を通して半日を楽しくしていただきます。合わせて参加者どうしの交流を深めていただきます。
事前にはお書きなじみ出欠をお尋ねします。

(実施予定 12月)

平成26年度 預算

【収入の部】

単位:円

科 目	26年度予算額
支部交付金	450,000
メニュー事業助成金	558,000
近隣ケアグループ研修会(支部)	30,000
ボランタリーハウス事業	216,000
福祉座談会	0
支部アンケート調査	5,000
機関紙の発行	92,000
配食サービス事業	15,000
料理で交流事業	5,000
福祉の人づくり育成事業	20,000
地域子育て支援・交流事業	40,000
高齢者ふれあい交流事業	15,000
歳末たすけあい特別事業	120,000
支部運営費助成金	15,000
寄付金	1,000
雑収入	126
前年度繰越金	1,349,874
収入合計	2,374,000

【支出の部】

単位:円

科 目	26年度予算額
事務費	53,000
会議費	35,000
通信費	5,000
消耗品費	13,000
メニュー事業費	956,000
近隣ケアグループ研修会	40,000
ボランタリーハウス事業	216,000
福祉座談会	0
福祉アンケート調査	10,000
機関紙の発行	200,000
配食サービス事業	80,000
料理で交流事業	20,000
福祉の人づくり育成事業	20,000
地域子育て支援・交流事業	150,000
高齢者ふれあい交流事業	20,000
歳末たすけあい特別事業	200,000
その他の事業費	405,000
フェスティバル(記念事業等)	400,000
年賀状送付事業	5,000
助成金支出	230,000
体育振興会助成金	30,000
地域ボランティア団体助成金	100,000
地域事業助成金	100,000
予備費	730,000
支出合計	2,374,000



ボランタリー ハウス



地域の高齢者や障がいのある人、子育ての中の人など
が閉じこもりにならないように集まって楽しく交流す
ることを目的とします。現在川島地区には、高齢者を
対象とした3つのボランタリーハウスがあります。



●手作業は脳の活性をうながします。

●概要	活動日 毎月第四金曜日
●場所	小網町公民館

ほほえみの会



町内在住の高齢者で、家に閉
こもりがちな人、独居の人達が地
域の方々と共に小物作りをし、た
り、歌を歌つたりします。また、軽
い体操をしたり、民謡を踊つたり、
更に簡単な調理実習を行つたり
し、クリスマス会も年一回行い、
ます。どなたでも参
加することができます。



●作品づくりに熱が入ります。

●概要	活動日 毎週水曜日
●場所	松倉町公民館

苺の会



ハウスを始めて十年になりま
す。ヨガをやり、おやつを食べ、
作品をつくる——誰もが元気に
なつてもらいたく、真剣に取り組ん
でいます。おやつは旬のもので手ん
づくりです。『今日はズンダ餅で手ん
作り』が題材選びに味方してくれま
す。季節で手ん作りは七夕飾りにしよ
う。』季節で手ん作りは七夕飾りにし
ます。水曜日を心待ちにします。



●いろいろな小物を作りました。

●概要	活動日 毎月第三水曜日
●場所	川島ライフケイゼンセンター

アサガオの会



社会福祉協議会とは

社会福祉協議会(略称・社協)とは、住民を中心とした福祉団体で、川島支部では、自治会や民生委員、団体、ボランティアの方等で組織しています。

住民の方が家庭や地域の中で困っていることなどを行政等と協力しあって、みんなで考え、住みやすい町にしていこうとするものです。

支部の事業は本紙に書いたとおりで、事業の財源は、皆さんのが市社協へ納付いただいた会費からの交付金などで賄っています。

8月に、会費のご案内が自治会を通じてありますので、ご理解いただき、協力くださいますようお願いします。

一人暮らし高齢者や高齢者だけ世帯など見守りが必要とされる方が増えています。近隣ケアクループとは、こつした方がいつもと変わらなく安心して生活を営むことができるよう、見守りや声掛けなどをを行う組織で、現在川島地区には、松倉に3、河田に1つ計4つの近隣ケアクループがあります。

活動は特に期日を決めて行うのではなく、グループの方が日常の中できちよつとした機会に行っています。皆さんもグループをつくつみませんか。

(助成あり)

●話し合つ皆さん



近隣ケアクループの紹介

平成25年度 決算

【収入の部】

単位:円

科 目	25年度決算額
支 部 交 付 金	385,000
メニュー事業助成金	434,716
近隣ケアクループ研修会(支部)	0
ボランタリーハウス事業	189,980
福祉座談会	0
支部アンケート調査	0
機関紙の発行	91,336
配食サービス事業	13,400
料理で交流事業	0
福祉の人づくり育成事業	0
地域子育て支援・交流事業	40,000
高齢者ふれあい交流事業	0
歳末たすけあい特別事業	100,000
支部運営費助成金	15,000
寄 付 金	9,285
雑 収 入	230
前 年 度 繰 越 金	1,489,336
収 入 合 計	2,333,567

【支出の部】

単位:円

科 目	25年度決算額
事 務 費	28,813
会議費	28,454
消耗品費	359
メニュー事業費	716,626
ボランタリーハウス事業	189,980
機関紙の発行	168,000
配食サービス事業	70,000
福祉の人づくり育成事業	0
地域子育て支援・交流事業	132,066
歳末助け合い特別事業	156,580
その他の事業費	73,736
フェスティバル	73,736
助 成 金 支 出	164,518
体育振興会助成金	30,000
地域ボランティア団体助成金	80,000
地域事業助成金	54,518
予 備 費	1,349,874
支 出 合 計	2,333,567

※【支出の部】予備費1,349,874円は、来期予算の【収入の部】前年度繰越金として算入。

三世代交流をしませんか



●昨年の渡地区の活動



●昨年の松倉地区の活動



社協川島支部では三世代交流をされる地域に費用の一部（2万円まで）を助成しています。文化交流やスポーツ交流、地域の歴史を考える交流など、内容は地域で考えていただきます。

子どもさんから高齢者までいろいろな世代の方が集まって楽しく過ごしていただきます。

計画されおられる地域は
社協・脇田（電話89-3867）
又は川瀬（電話89-4097）
までご連絡ください。



●昨年の小網地区的活動

**応げよう
地域に根ざした
思いやり**

民生児童委員は、住民の皆さんとの見守りや、訪問活動など、地域に根ざした身近な相談役として、さまざまな活動を行っています。

こうした日常の活動の中でも、高齢者の安否確認や、障がい者・子育て世代・生活困窮者の皆さんが、孤立することのないよう、社会福祉と手をつなぐ取り組みを行っています。

民生児童委員はあなたの身近にいます、どんな小さなことでもご相談ください。

（副支部長 川瀬）

10周年は感謝

東なる地域福祉の發展を

「存じのよつに、川島町社会福祉協議会が各務原市社会福祉協議会と合併して今まで十年になります。

合併当時、町社協は設立して三年半でした。三年半を人間に例えると、「やつと会話ができるようになつた幼児」といふとひりますが、合併後、支部社協として市社協の指導を受けながら運営してきて、現在に至つております。これまでの先輩の方々の努力に対して感謝いたします。

さて、六月十六日の某新聞の「今月」「こんなのが載つていました。」かつて、ラジオ番組「君の名は」を聞きたときに、錢湯から人が消えたという現象があつた。今では、こんな現象は起らぬい。だが、昨日の町の中を歩く人はめっきり減つていて、隣近所の開け放たれた窓から下中継の音声や「おお」という

声が聞こえてくるのはW杯のサッカーの観戦だつて。この光景は、普段何を考えているか分からぬ今の人達が同じ時代に同じ場所で呼吸をした証じで、人間同士であることを再認識した。』といつ記事。

今、社会で求められていることは前記のよつな家族のまとなりであり、近所、地域とのつながり——連帯ではないでしょうか。

高齢社会となり、独居高齢者や高齢者だけの世帯が多くなり、みんなが助け合い、支えあつていかなければいけない時代です。ボランタリーハウスや隣ヶアグループ、民生委員さん等多くのボランティアさんの地域活動に感謝します。

合併十周年を節目に、社協川島支部がこれから十年の地域福祉の推進役の要となつて发展していくことを願っています。

支部長 脇田美千広

平成二十六年度各務原市社会福祉協議会

川島支部役員

支部長	脇田 美千広	副支部長	川瀬 生身	理事	川瀬 勝秀	副支部長	川瀬 はるみ	理事	尾関 克明	副支部長	川瀬 孝司	理事	木戸 律子	副支部長	川瀬 昭一	理事	田中 勝弘	評議員	小島 豊彦
水野 潔	安藤 順司	青井 栄一	鈴木 勝	評議員	同	監事	会計	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
水野 潔	安藤 順司	青井 栄一	鈴木 勝	評議員	同	監事	会計	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
北山町自治会(代表)	松原町自治会(代表)	河田町自治会(代表)	笠田町自治会(代表)	民生児童委員	田中 秀信	脇田 明治	水野 三郎	小島 千人	木村 徹之	福手 弘子	松倉町ボランタリー・ハウス代表	松倉中近隣ケア・グループ代表	新井 はるみ	シニアクラブ連合会長	川瀬中近隣ケア・グループ代表	脇田 義代	川瀬 勝秀	川瀬 はるみ	川瀬 昭一
民生児童委員	北山町自治会(代表)	松原町自治会(代表)	河田町自治会(代表)	民生児童委員	同	監事	会計	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

評議員 小島 豊彦 民生児童委員

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	評議員 小島 豊彦 民生児童委員	
小島 修二	青井 秀樹	水野 香織	岩田 七三代	柴 芳子	薺谷 啓子	柴 芳子	近隣ケア・グループ代表	河田町ボランタリー・ハウス代表	小網町ボランタリー・ハウス代表	河田町ボランタリー・ハウス代表	小網町ボランタリー・ハウス代表	松倉西近隣ケア・グループ代表	川瀬中近隣ケア・グループ代表	川瀬 勝秀	川瀬 はるみ	川瀬 昭一	田中 勝弘	同	同	
川島小学校PTA会長	川島中学校PTA会長	子ども会育成会長	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	川瀬 はるみ	川瀬 勝秀	川瀬 昭一	田中 勝弘	同	同	
川島小学校PTA会長	川島中学校PTA会長	子ども会育成会長	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	ボランタリー・ハウス代表	川瀬 はるみ	川瀬 勝秀	川瀬 昭一	田中 勝弘	同	同



「カツコウ」や「ピコピコ」などの音声が出る信号機がありますね。これは視覚障害者のために設けられたもので、視覚障がい者の使用頻度が高いところに設置されています。「カツコウ」は東西又は主道路横断用で、「ピコピコ」は南北又は従道路横断用です。そのほか、メロディーが流れる信号機もあります。

車いすは、自分で歩けない人が行動するのに大切な福祉用具ですね。本人が自分で操って動かすものを「自走型車いす」と言い、介助者が押してあげるものをお「介助型車いす」といいます。

車いすの介助は場面に応じた方法で使

用します。特に坂道、段差のあるところでは注意が必要です。

上り坂は押し戻されないように気をつけ、緩やかな下り坂は車いすをひくようにして下ります。急な坂道（約5度以上）では軽くブレーキをかけたりしながら後ろ向きで下ります。



車いす、下りはバックで



あと書き

夏の風物詩である「川まつり」や「盆踊り」は川島地区の人々が一体となる行事ですね。合併後も継続して行われているのは本当にうれしいものです。今年は下記のように行われます。みなさん参加して、互いにふれあい、行事が永く続いていくことを願いたいですね。



盆踊り 7月27日（日）
川まつり 8月14日（木）、15日（金）

善意の寄付

昨年度次の方から寄付を賜りました。厚くお礼申しあげます。地域福祉のため役立たせていただきます。

（敬称略）

苺の会

川島会館お茶お花学級

パッチワーカ

ベテナーズ

杏の会

匿名